

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		高齢者在宅福祉サービス事業		担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	3332	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	大里広域市町村圏組合高齢者配食サービス事業実施要綱、深谷市緊急通報システム事業実施要項、深谷市高齢者住宅改修費補助事業交付要綱				
	小項目	2	高齢者福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		高齢者の自立と生活の質の向上、在宅生活の支援等を目的として、配食サービス（自宅へ配達）による安否確認、緊急通報システムの設置による緊急時の迅速な救助活動、住宅改修費の補助などを行い、高齢者が安心して生活できる環境と見守り体制を整備するものである。								
目的 ※何のために		高齢者の自立と生活の質の向上、在宅生活の支援等を目的として、日常における安否確認、見守り活動等を推進する。								
対象 ※誰・何を対象に		65歳以上の一人暮らし高齢者等。								
手段 ※どのように		緊急通報装置を設置し、自宅での急病や事故等の緊急時に迅速な救助活動を行う。 住宅改修費の一部を補助する。								
成果 ※何を求めるか		高齢者の地域の見守り体制を整備する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	1	老人福祉総務費	高齢者在宅福祉サービス事業	12,842,049
本事業の 主な業務		・緊急通報システム事業申請受理・審査・決定							・	
		・緊急通報システム事業請求・支払							・	
		・緊急通報システム事業有事安否確認							・	
		・高齢者住宅改修費補助事業申請受理・審査・決定							・	
		・高齢者住宅改修費補助事業実績報告・請求・支払							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	13,868,000	14,837,000	14,318,000	14,447,000	14,802,000	17,518,000
	決算額	12,626,909	12,841,932	12,355,745	12,274,635	12,842,049	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	12,626,909	12,841,932	12,355,745	12,274,635	12,842,049	17,518,000
人件費	従事職員数（人）	0.83	1.43	0.93	0.80	0.95	0.90
	人件費相当試算※	6,456,570	11,128,260	7,310,730	6,508,800	7,373,820	7,318,213
総事業費試算		19,083,479	23,970,192	19,666,475	18,783,435	20,215,869	24,836,213

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	配食サービス実施日数	目標値	日	309	308	309	309	309	309	
		実績値	309	308	309	310	309	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間のサービス実施日数（毎週日曜日、年末年始を除く）を目標値とする。/実施日数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	緊急通報システム設置数	目標値	台	510	515	520	525	497	497	
		実績値	510	498	486	497	483	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年増やしていくことを目標値として設定する。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	配食サービス利用者数	目標値	人	190	195	200	205	210	215	
		実績値	191	195	183	210	225	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年増やしていくことを目標値として設定する。 / 利用者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	延配食数	目標値	食	31850	31900	31950	32000	32050	32100	
		実績値	31879	31370	32163	33272	37498	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年増やしていくことを目標値として設定する。 / 延配食数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	緊急通報連絡件数（緊急通報システム）	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値	72	44	39	34	23	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		緊急連絡件数に目標はないため、目標値は設定しない。							
	実績値の算出式									
成果指標 4	緊急連絡時の安否確認率（緊急通報システム）	目標値	%	100	100	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100	100	100	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全ての連絡に対して安否確認の必要があるため、100%を目標値として設定する。 / 安否確認件数／連絡件数							
	実績値の算出式			72／72	44／44	39／39	34／34	23／23		

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	・配食サービスは目標値の年間サービス予定日に提供することができた。 ・緊急通報システムの設置数は、前年度（497件）より14件減少した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	・配食サービスの利用者数は、前年度（210件）より27件増加し、目標値を達成した。 ・緊急通報システムの緊急連絡件数は、前年度（34件）より11件減少しているが、全件の緊急連絡に迅速に対応できた。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	高齢化の進行により、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、配食サービスの提供、緊急通報システムの設置などの取り組みは、ニーズも高く重要なものとなっており、迅速に受付審査を行い、サービス利用につなげることができた。 今後も、一人暮らしなどの高齢者が在宅生活を送るための支えとして、これらサービスの委託業務を適正に行い、高齢者が安心して安全に生活できる暮らしやすい環境の整備を継続する
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	高齢者在宅福祉サービス事業	担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	3332
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>高齢化の進行により、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、配食サービスの提供、緊急通報システムの設置などの取り組みは、ニーズも高く重要なものとする。 今後も、一人暮らしなどの高齢者が在宅生活を送るための支えとして、これらサービスの委託業務を適正に行い、高齢者が安心して安全に生活できる暮らしやすい環境の整備を継続する。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	長寿福祉課長 笠原正				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

